



特発性炎症性筋疾患の皮膚・筋病変における遺伝子発現解析および新規治療標的分子の追究

2021年11月5日以降に研究課題「全身性強皮症における皮膚病変の病態解明」にご参加された患者さん
2014年8月以降、日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科に通院され、筋生検を受けられた患者さん

研究協力をお願い

当科では「特発性炎症性筋疾患の皮膚・筋病変における遺伝子発現解析および新規治療標的分子の追究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、研究実施許可日より2027年3月31日までに日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科にて、特発性炎症性筋疾患の確定診断のために皮膚生検あるいは筋生検を受けられた患者さんの皮膚・筋組織における遺伝子発現および免疫関連分子発現を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本研究では皮膚病変における遺伝子発現解析の比較対照として、当科の研究課題「全身性強皮症における皮膚病変の病態解明」にご参加いただき、皮膚生検を受けられた患者さんの皮膚病変における遺伝子発現データを使用させていただきます。また、2014年8月以降に当科に通院され、筋生検を受けられた患者さんに関しましては、当院に保存された筋標本の一部を使用させていただき、網羅的な免疫関連分子発現解析を行ないます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：特発性炎症性筋疾患の皮膚・筋病変における遺伝子発現解析および新規治療標的分子の追究

研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 リウマチ・膠原病内科 桑名 正隆

(2) 研究の意義、目的について

特発性炎症性筋疾患の発症には自己免疫が関わっていることが明らかとなっているものの、病態の詳細は未だ不明です。本研究では、同疾患の皮膚・筋病変における特徴的な遺伝子および免疫関連分子の発現パターンを健常人や他の膠原病と比較して明らかにし、新規の治療標的を見出すことを目的としております。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

研究実施許可日より2027年3月31日までに日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科にて、特発性炎症性筋疾患の確定診断目的に皮膚・筋生検を受けられた患者さんの皮膚・筋病変における遺伝子発現を解析します。このうち、皮膚病変における遺伝子発現データについては、2021年11月5日以降に研究課題「全身性強皮症の皮膚病変の病態解明」にご参加いただき皮膚生検を受けられた患者さんの皮膚病変における遺伝子発現データと比較検討を行います。また、2014年8月以降に当科に通院され、筋生検を受けられた患者さんに関しましては、当院に保存された筋標本の一部を使用させていただき、イメージマスサイトメトリーによる網羅的な免疫関連分子発現解析を行ないます。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：皮膚生検で採取された皮膚検体の遺伝子発現解析結果、筋生検で採取された筋標本のパラフィンブロック

情報：年齢、性別、診断名

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。



(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リウマチ・膠原病内科 准教授 五野 貴久

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6553 メールアドレス：rheum@nms.ac.jp